

第1号議案 令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日より令和5年3月31日迄)

1. 郷土芸能に関する発表会の開催

(1) 第2回オンライン全国地芝居サミット in 岡山奈義: 令和4年11月19日(土)

「全国地芝居サミット」を、横仙歌舞伎保存会(岡山県奈義町)と共催し、奈義町文化センターと出演団体の地域をオンラインでつないで開催した。内容はサミットテーマを「奈義に見参! 全国のおもしろ芝居場巡り」と銘打って奈義町の3団体と特色ある舞台をもつ歌舞伎団体の紹介を行った。広く一般に広報し、視聴者は約100名。

<次第>

- 開会挨拶 横仙歌舞伎保存会会長 奥正親(奈義町長)
- 地芝居サミットについて 小岩秀太郎(全郷芸常務理事)
- 出演団体、舞台場の紹介・進行: 葛西聖司(元 NHK アナウンサー)、北河直子(地芝居ポータル)
 - ①ホスト 横仙歌舞伎保存会 二宮直樹(奈義町生涯学習課)
 - ②パネリスト 中島東松神座 鷹取達(松神座座長 奈義町)
 - ③パネリスト 粟井春日歌舞伎保存会 有友一正(事務局長 岡山県美作市)
 - ④オンライン参加 鮭川歌舞伎保存会 黒坂洋平(鮭川村事務局 山形県鮭川村)
 - ⑤オンライン参加 菅生歌舞伎菅生一座 竹内金枝(座長 東京都あきる野市)
 - ⑥オンライン参加 土佐絵金歌舞伎伝承会 入野節雄(副会長 高知県香南市)

<協力>

- 地芝居ポータル(蒲池卓巳、北河直子、館野太朗)

(2) 文化庁「子供たちの伝統文化の体験事業」「東京芸能ゆうえんち〜ふるさと東京の郷土芸能体感〜」

本事業はコロナ禍で伝統文化に触れる機会が減少した子供たちに体験機会を提供する事業を採択する文化庁の公募事業である。当協会は採択を受けて、子供や保護者が、首都圏の郷土芸能を体験することを通して、生活する地域への誇りや愛着を促進させることを目的に開催した。

事前に募集された親子の郷土芸能ワークショップでは、地域に育まれた踊りの表現、また道具・衣裳の作り方を通し自ら作り出す喜びや楽しさを体感。コロナ対策としてオンライン講座なども行った。1月15日公演当日は、4団体の郷土芸能を上演。一般来場者も参加して、ワークショップを修了した子どもたちの成果発表も行った。

【事前ワークショップ】

- 令和4年12月4日(日) 鬼剣舞ワークショップ「オニとなる」講師: 二子流東京鬼剣舞、会場: 荒馬座稽古場
- 令和4年12月10日(土) 南京玉すだれワークショップ「ワザに遊ぶ」講師: 浅草雑芸団、会場: 荒馬座稽古場
- 令和4年12月18日(日) 獅子舞ワークショップ「シシとなる」講師: 松本源之助社中、会場: 西日暮里ふれあい館
- 令和5年1月3日(火) 「春駒七福神巡り」見学会 講師: 浅草雑芸団、会場: 弘福寺・布袋尊(墨田区向島)
- 令和5年1月8日(土) 「オンラインワークショップ」講師: WS3団体 会場: 荒馬座稽古場、松本社中稽古場

○公演期日: 令和5年1月15日(日)

○会場: イイノホール(東京都千代田区内幸町)

○出演団体: 「鬼剣舞」二子流東京鬼剣舞・二子鬼剣舞・黒岩鬼剣舞合同チーム(東京都墨田区、岩手県北上市)、「日本の放浪芸能」浅草雑芸団(東京都)、「檜立踊り」檜立踊り保存会(東京都八丈島八丈町)、「江戸の里神楽」松本源之助社中(東京都荒川区)

○参加者: 282名

2. 指導者、保存団体の育成

(1) 文化庁委託事業「地域の伝統行事等のための伝承事業(公開支援)」

文化庁の委託事業として標記事業の相談窓口を設置し、窓口寄せられた全国の伝統行事等の関係者からの声を元に、各分野のプロである5つの技術提供団体と伝統行事等の関係者とのマッチングを行い、全438件に対して技術提供を行った。有識者会議の開催、コーディネーターの派遣など、伝統行事等の伝承のための適切な支援を行うことにより、活動の継承を繋がる事業となった。

(2) 郷土芸能振興支援プロジェクト

「郷土芸能振興支援プロジェクト」として、被災や少子高齢化等で継承が困難な芸能団体への支援金の寄附を募った。

3. 情報の収集及び提供

(1) 情報収集及び提供

- メールマガジン「祭と民俗芸能」をNO. 208(令和4年8月31日)からNO. 210(令和5年2月6日)まで合計3号を発行した。購読者数は270名。(2008年1月より)
- 公式 Twitter にて、令和4年6月1日から令和5年3月10日まで、合計53の情報配信を行った。購読者は2023年3月現在、849名。(2011年2月より)
- 公式フェイスブックにて、令和4年5月6日から令和5年3月2日まで、合計34の記事を発行した。購読者は2023年3月現在、883名。(2016年4月より)

(2) 会報発行

第107号から第110号まで発行した。

- 第107号 令和 4年 4月25日 発行(20頁)
- 第108号 令和 4年 7月26日 発行(20頁)
- 第109号 令和 4年 10月20日 発行(20頁)
- 第110号 令和 5年 1月25日 発行(24頁)

(3) 映像の収集と活用

「郷土芸能ストリーム・ビデオライブ『すごい民族誌映画がみたい！』」

郷土芸能を中心とした映像の上映会やディスカッションを通じて、郷土芸能へ理解を深め、サポートする層の増進を図ることを目的として開催してきた「郷土芸能ストリーム」を、2021年度から、エトノスシネマ(運営:株式会社ヴィジュアルフォークロア)との共催で「すごい民族誌映画がみたい！」とし、埋もれがちな映像のアーカイブと活用を目的に、オンラインとリアルハイブリッドで開催した。なお、全郷芸会報連載記事「この民族誌映画がすごい！」(ヴィジュアルフォークロア遠藤協氏)のアウトリーチイベントとして企画した。

○第4夜「ワラワラ藁！～世界中の知の記録の集積EC映像より出づる異形なモノたち～」

期日・場所:令和5年3月3日(金) 18時30分～20時30分・全郷芸事務所からオンライン配信

内容:世界中の民俗行事や儀礼等の映像をアーカイブした「ECフィルム」の中でも、藁にまつわる行事や芸能の映像を中心に当日配信し、トークゲストとして EC フィルム活用プロジェクトメンバー3名を招いてトークを行った。一般に映画とトークのセットを有料で販売し、視聴者(会場参加含む)は36名。

<ゲスト>順不同・敬称略

- ・下中菜穂(エクスプランテ)
- ・中植きさら(ポレポレ東中野)
- ・丹羽朋子(国際ファッション専門職大学)

4. 国際交流事業

国際交流基金の「イスラエル事業」

国際交流基金は、令和4年9月17日～25日、日本・イスラエル外交関係樹立70周年を記念し、東北の郷土芸能とアーティストと、イスラエルのバンドBoom Pamが初共演する派遣事業を実施した。全郷芸は制作を委託した。行山流水戸辺鹿子躍(宮城県南三陸町)の小野寺翔氏、四倉由公彦氏(宮城県石巻市・伊達の黒船太鼓保存会、音楽家)、白崎映美氏(山形県出身、上々颱風ボーカル)、演出としてニコラ・リバレ(スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドプロデューサー)、舞台監督高野洋氏、コーディネーター兼鹿子躍踊り手として小岩常務理事を派遣した。スペシャルバンド“The Spirit of Tohoku”として、テルアビブとエルサレムの2ヶ所での公演と、芸術学校でのレクチャー&デモンストレーションを行った。

主催:国際交流基金 共催:在イスラエル日本国大使館 協力:駐日イスラエル大使館

制作:全日本郷土芸能協会 制作協力:一般社団法人 スキヤキ・オフィス

5. 顕彰

令和4年6月18日(土)の令和4年度総会において、入会10年継続と5年継続の団体会員10団体に感謝状を贈呈した。また、郷土芸能の保存振興に尽力されている10団体に特別表彰を行った。

6. 郷土芸能の振興発展

(1) 三陸国際芸術祭2022彩(サンフェス)

東日本大震災被災地の三陸地域の復興と郷土芸能の発信を目的に、三陸地域の郷土芸能と現代アート、アジアの民族芸能を招聘し、公演と交流を行う事業として2014年から毎年開催。三陸国際芸術推進委員会、国際交流基金アジアセンター主催、全郷芸は共催。「三陸国際芸術推進委員会」は、三陸地域の地方公共団体や民間団体が連携し、国際的な視野に基づいた郷土芸能・文化芸術活動の推進を図るために平成30年11月に設立され、令和4年度も推進委員に星野理事長、運営委員に小岩常務理事が就任した。また「洋と野に舞う三陸未来芸能彩」の企画制作業務を受託した。

○洋と野に舞う三陸未来芸能彩「芸能彩生ミーティング」

期日・会場:令和4年9月10日(土)・岩手県洋野町 洋野町民文化会館セシリアホールコミュニティホール他

内容:若手芸能者やプロのアーティストが集い、芸能の意義や未来を語り合うとともに、三陸地域に息づく創造性・可能性をシェアしながら仲間と思いを共有する交流ミーティングを開催した。総勢約70名が7グループに分かれ、「郷土芸能や地域を広く知ってもらうには」「芸能や地域の未来と希望」などについて語り合った。

○洋と野に舞う三陸未来芸能彩「三陸未来芸能彩」

期日・会場:令和4年9月11日(日)・岩手県洋野町 洋野町民文化会館セシリアホール大ホール

内容:三陸の未来を担う若い芸能者にフォーカスし、芸能体験を取り入れるなど、これまでになかった芸能公演を実施した。地元洋野町の「おおの鳴雷太鼓」「角浜駒踊り」「ナニヤドヤラ」と、高校生芸能として岩泉町岩泉高校の「中野七頭舞」、北上市北上翔南高校の「鬼剣舞」が出演した。また出演者による鬼剣舞体験や、ナニヤドヤラ総踊りを行った。

(2)「郷土芸能探訪」連載記事掲載

大学教育をメインとした冊子「文部科学教育通信」(月2回発行)に全国各地に伝わる郷土芸能を毎回1つ取り上げる「郷土芸能探訪」を昨年度から引き続き、第73回(令和4年4月11日)から第90回(令和5年2月13日)に掲載した。星野紘氏(当協会理事長)監修のもと執筆者を選任した。

(3) CS放送番組「コムアイのこれが知りたい！」監修

株式会社WOWOWプラスは、CS放送「歌謡ポップスチャンネル」内で5分ほどのミニ番組『コムアイのこれが知りたい！』を放送している。独自の世界を表現するアーティストのコムアイ氏と、国内外の地域文化を追うライターの大石始氏と共に、日本各地の伝統芸能、民俗芸能、祝祭、神事等について、様々な視点・切り口で迫る番組で、10本制作され、全郷芸団体会員も紹介された。スーパーバイザーとして、小岩常務理事が協力した。

(4) 民俗芸能 in としま2022

東京都豊島区を中心に首都圏の民俗芸能と、日本の伝統音楽や民謡を進化させ、新しい表現を試行するアーティストによる音楽ライブの公演として、令和4年10月30日(日)に池袋西口公園野外劇場グローバルリングシアターで開催した。主催は、(公財)としま未来文化財団・豊島区・東京芸術祭実行委員会。全郷芸は、出演団体選出や舞台制作など企画制作として、としま未来文化財団から委託を受けた。出演した全郷芸会員として、高野右吉と秩父社中(埼玉県)、二子流東京鬼剣舞、菅生歌舞伎菅生一座(以上東京都)、司会に個人会員の上島敏昭氏に依頼した。上島氏が代表の浅草雑芸団も出演した。

(5) 岩手県令和4年度民俗芸能団体交流推進事業

「岩手県民俗芸能フェスティバル」に出演する岩手県外団体と交流を図ることにより、民俗芸能に携わる若い世代の誇りや意欲を高め、活動の更なる活発化につなげるため、岩手県外の民俗芸能に取り組む団体と、県内の民俗芸能団体との交流の機会を創出することを目的とした岩手県の委託事業。令和4年12月3日(土)に目黒流貫井囃子保存会(東京都小金井市)の派遣を行った。

(6) 令和4年度文化遺産シンポジウム「民俗芸能の現状と今後の発展」

香川県の獅子舞王国さぬき実行委員会では年に一度、高松市の公園に讃岐中の獅子舞を集めたイベント「獅子舞王国さぬき」を開催している。また実行委員会主催でシンポジウムも開催しており、令和4年度は12月11日(日)、香川県立ミュージアムで実施した。佃昌道・高松大学学長のコーディネートのもと、パネリストに久保田裕道氏(全郷芸理事)、十川みつる氏(全郷芸会員・讃岐獅子舞保存会)、小岩常務理事が登壇し、各地の様々な獅子舞プロジェクトの報告や実演を通し、今後の獅子舞文化の発展の可能性についてのアイデアが議論された。

(7) 第54回東京都民俗芸能大会「風流踊の世界」

東京都民俗芸能大会実行委員会より依頼があり、令和5年3月4日(土)5日(日)の両日に亘り新宿文化センター大ホールで開催された標記大会の舞台監督及び、照明音響等の舞台進行を行った。

(8) 令和4年度北上市民俗芸能セミナー

北上市民俗芸能協会が毎年企画主催している市内芸能保存会向けセミナーで、令和4年度は令和5年3月5日(日)に北上市の日本現代詩歌文学館ホールで行われた。協会からの依頼で、小岩常務理事を派遣し、「民俗芸能が地域に果たす役割」というテーマで基調講演を行った。

令和4年度事業報告の付属明細書

1. 役員等に関する事項(令和5年3月31日現在)

<p>＜理事＞ 定数 14人～20人 任期 2年 現在数 常勤 2人 非常勤 13人</p>	<p>＜監事＞ 定数 3人以内 任期 4年 現在数 常勤 0人 非常勤 2人</p>
--	--

役職名	氏名	常／非常勤	任期	現職名(元職名)	当初就任日
理事長	星野 紘	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	東京文化財研究所 名誉研究員	平成 23.6.18
専務理事	森下 春夫	常勤	令和 3.6.12～5.6.11	(公社)全日本郷土芸能協会 事務局長	平成 9.6.7
常務理事	城井 智子	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	(公社)全日本郷土芸能協会 常務理事	平成 7.5.24
常務理事	小岩 秀太郎	常勤	令和 3.6.12～5.6.11	(公社)全日本郷土芸能協会 会事務局長次長	平成 29.6.10
常務理事	中坪 功雄	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	(一社)日本イベント協会理事	平成 7.5.24
理事	秋田 吉博	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	京都中堂寺六齋会会長	令和 1.6.15
理事	岸邊 和夫	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	一級建築士	令和 3.6.12
理事	佐々木 昌幸	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	有福神楽保持者会	令和 1.6.15
理事	菅原 晃	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	鬼柳鬼剣舞庭元	平成 25.6.8
理事	瀬沼 亨	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	八王子車人形家元	平成 11.6.12
理事	高橋 裕一	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	獅子博物館館長	平成 23.6.18
理事	新沼 裕道	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	東京文化財研究所 無形民俗文化財研究室長	平成 25.6.8
理事	円尾 安子	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	さぬきばやし保存会家元	平成 25.6.8
理事	宮本 芳彦	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	(株)宮本卯之助商店社長	平成 25.6.8
理事	山口 清文	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	全国地芝居連絡協議会 議長	平成 21.6.20
監事	星野 敬太郎	非常勤	令和 1.6.15～5.6.14	上三原田歌舞伎舞台 伝承委員会	平成 21.6.20
監事	山本 正実	非常勤	令和 1.6.15～5.6.14	小鹿野歌舞伎保存会 副会長	令和 1.6.15

2. 職員に関する事項(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	常／非常勤	就任年月日	担当事務	備考
職員	西田 昌代	常勤	平成 16.4.1	一般事務	

3. 会議に関する事項

(1) 社員総会に関する事項

定款第4章第15条に基づく社員総会の報告

令和4年度定時社員総会

期日:令和4年 6月 18日(土)

会場:赤坂陽光ホテル

出席数:172名(委任状含む)／総数301名

議案	第1号議案	令和3年度事業報告の承認の件	可決
	第2号議案	令和3年度収支決算の承認の件	可決
	報告事項1	令和4年度事業計画の件	報告
	報告事項2	令和4年度収支予算の件	報告

(2) 理事会に関する事項

定款第6章36条に基づく理事会の報告

① 令和4年度第1回通常理事会

期日:令和4年 5月 15日(日)

会場:(公社)全日本郷土芸能協会事務所

出席数:13名／総数15名

議案	第1号議案	令和3年度事業報告の承認の件	可決
	第2号議案	令和3年度収支決算の承認の件	可決
	第3号議案	令和4年度定時社員総会招集について	可決
	第4号議案	新入会員承認の件	可決
	第5号議案	令和4年度表彰の件	可決
	報告事項1	業務執行理事の業務執行報告	報告
	報告事項2	令和3年度退会会員	報告

② 令和4年度第2回通常理事会

期日:令和5年 3月 4日(土)

会場:(公社)全日本郷土芸能協会事務所

出席数:13名／総数15名

議案	第1号議案	令和5年度事業計画の承認の件	可決
	第2号議案	令和5年度収支予算の承認の件	可決
	第3号議案	資金調達及び設備投資の見込みについて	可決
	第4号議案	経理規程の改正について	可決
	報告事項	業務執行理事の職務執行報告	報告

4. 社員の異動状況

社員種別	令和4年3月31日現在	令和5年3月31日現在	増減数	摘要
団体会員	212	209	-3	
個人会員	90	87	-3	
賛助会員	10	10	±0	
ユース会員	1	0	-1	

5. 令和4年度後援名義使用承認事業

4全後第1号(令和4年 5月2日承認)

名 称 和4年度鮭川歌舞伎土舞台特別公演
期 日 令和4年 6月12日(日)
主 催 鮭川歌舞伎土舞台特別公演実行委員会

4全後第2号(令和4年 5月9日承認)

名 称 「佐陀神能」ユネスコ無形文化遺産登録記念事業 第3回『神座 神々への舞』
期 日 令和4年 10月2日(日)
主 催 「佐陀神能」ユネスコ無形文化遺産登録記念事業実行委員会

4全後第3号(令和4年 5月30日承認)

名 称 全日本獅子舞フェスティバル白岡 2022
期 日 令和4年11月20日(日)
主 催 獅子博物館

4全後第4号(令和4年 6月3日承認)

名 称 日本遺産・麒麟獅子舞フェスタ 2022 ～因幡の地で麒麟が舞う～
期 日 令和4年11月6日(日)
主 催 日本遺産・麒麟獅子舞フェスタ 2022 実行委員会

4全後第5号(令和4年 6月21日承認)

名 称 東日本大震災復興支援 岩手郷土芸能祭in鎌倉
期 日 令和4年 11月 19日(土)、20日(日)
主 催 岩手郷土芸能祭 in 鎌倉実行委員会

4全後第6号(令和4年 7月1日承認)

名 称 第49回鳥海獅子まつり
期 日 令和4年 8月16日(火)
主 催 由利本荘市 由利本荘市教育委員会 鳥海郷土芸能保存会、本海獅子舞番楽伝承者協議会

4全後第7号(令和4年 7月1日承認)

名 称 田楽座ながめ公演
期 日 2022年 10月 2日(日)
主 催 田楽座ながめ公演実行委員会ながめでんがく・田楽座

4全後第8号(令和4年 7月15日承認)

名 称 後継者育成発表会「秋の子どもみちのく芸能まつり 2022」
期 日 令和4年(2022年) 10月16日(日)
主 催 北上市民俗芸能協会

4全後第9号(令和4年 7月26日承認)

名 称 秋川歌舞伎復活30年記念公演
期 日 令和4年 10月16日(日)
主 催 秋川歌舞伎保存会

4全後第10号(令和4年 8月3日承認)

名 称 第30回地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会やまぐち」
期 日 2022年 10月8日(土)～9日(日)
主 催 第30回地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会やまぐち」実行委員会、
山口県、山口市、一般財団法人地域伝統芸能活用センター、

4全後第11号(令和4年 8月3日承認)

名 称 宮本卯之助商店160周年記念いやさかプロジェクト和楽奏伝
期 日 令和4年 9月 23日(金・祝)
主 催 株式会社宮本卯之助商店

4全後第12号(令和4年 8月9日承認)

名 称 ひたち秋祭り
期 日 令和4年 10月8日(土)～10月9日(日)
主 催 公益財団法人日立市民科学文化財団

4全後第13号(令和4年 8月18日承認)

名 称 れきみん秋祭り2022
期 日 令和4年 10月 22日(土)、11月 3日(木・祝)
主 催 仙台市教育委員会、公益財団法人仙台市市民文化事業団

4全後第14号(令和4年 8月25日承認)

名 称 第34回都筑太鼓公演
期 日 令和5年 6月 17日(土)
主 催 特定非営利活動法人 横浜都筑太鼓

4全後第15号(令和4年 9月12日承認)

名 称 第33回「民俗芸能と農村生活を考える会」
期 日 令和5年 1月 7日(土)
主 催 一般社団法人全国農協観光協会

4全後第16号(令和4年 9月27日承認)

名 称 鬼よ燃えろ！冬の^{みちのく}芸能まつり part13
期 日 令和5年(2023年) 1月22日(日)
主 催 北上市民俗芸能協会

4全後第17号(令和4年 10月18日承認)

名 称 劇場公演「獅子と仁人」沖縄公演及び横浜公演
期 日 沖縄公演:2022年11月12日(土)／13日(日) 横浜公演:2022年12月23日(金)～27日(火)
主 催 沖縄公演:宜野座村文化のまちづくり事業実行委員会 横浜公演:株式会社イッカク

4年全後第18号(令和5年 1月4日承認)

名 称 第16回登米市民俗芸能大会
期 日 令和5年 2月12日(日)
主 催 登米市民俗芸能協会、登米市教育委員会